

専門ガイドと歩く縄文杉日帰りトレッキングツアーのご案内

ご希望のお客様は出発日の 10 日前までにお申込みください。

推定樹齢 7,200 年と言われる巨木『縄文杉』に会いに行くトレッキングツアー。荒川登山口から縄文杉まで往復 **21.4km** を専門ガイドの案内とともに歩きます。途中の行程でも、ハート型の切り株のウィルソン株や夫婦杉、大王杉など見どころ満載です。運が良ければヤクシカやヤクザルに出会うこともあります。専門ガイドがお客様をサポートしながら登りますので登山初心者の方でも思い切って挑戦してみても良いでしょう。長い道のりの先にある感動は登り切った人にしか味わえません！ 標高 600~1,300m 歩行 10~11 時間

AM4:45~5:30	宿出発 専用のバスもしくはハイヤーがお出迎え！ 車の中ではぐっすりお休み下さい。
AM6:00	登山口到着 登山口ではまずトイレに行きましょう。 みんなで準備体操をしていざ出発！
AM7:00	小杉谷集落跡地
AM7:40	三代杉 屋久杉の長寿の秘密に迫ります！
AM9:40	大株歩道入り口 本日二回目のトイレです必ずトイレに行きましょう、次のトイレは 5 時間後。
AM10:05	翁杉

AM10:10	ウィルソン株 巨大な切り株にビックリ！
AM11:10	昼食 自然の中でゆっくりお弁当タイム、森を見上げて気持ちよ～くなります。
AM11:35	大王杉 この辺りから巨木が続々登場してきますよ。
PM11:40	夫婦杉
PM12:10	縄文杉 待ちに待った出会いの瞬間！縄文杉があなたを待っています。
PM12:40	下山開始
PM17:00～17:30	荒川登山口 専用バスもしくはハイヤーがお出迎え。 一日お疲れ様でした帰りの車中ではゆっくり休んで下さいね。
PM18:00～18:30	宿に到着 お風呂でゆっくり疲れをとって下さい。 今夜はぐっすり眠れるはずです。

※スケジュールの時間は目安です。

屋久島の気候

屋久島は南の島なので暖かいと思っている方も多いと思いますが、山があるため標高によって気温がまったく違ってきます。冬になると山間部では、2メートル以上雪が積もります。

亜熱帯～冷温帯までの植生が山に垂直分布している屋久島。

登山場所や目的に応じて服装もかわってきます。

屋久島の月別気温(℃)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均	3.6	4.1	6.3	9.7	12.8	15.6	18.9	19.2	17.5	13.9	9.9	5.6
縄文杉 (推定) 標高 1300m	最高 6.4	7.2	9.5	13.7	16.3	18.8	22.4	22.6	20.7	16.9	12.9	8.6
	最低 0.7	1.1	3.1	8.2	9.3	12.7	15.7	16.2	16.6	11.0	6.9	2.6

服装・持ち物

大自然の魅力を堪能するには、万全の準備は欠かせません。雨が多く気候の変化も激しい島ですから、麓は晴れていたのに山の中に入ると突然の雨、なんていうことも。雨対策の装備は必ず準備しましょう。また、麓と山の中での気温差にも注意が必要です。特に休憩中は体が冷えるので、防風・防水性のあるウェアを携帯するのがベストです。

- ・長ズボン（ジーンズ不可、濡れると重く乾かない。ジャージをおすすめします。）
- ・長袖の上着（縄文杉の標高は1,300mで、気温は麓より約10度低い）
- ・軽登山靴（トレッキングシューズ）または運動靴
- ・雨具(上着とズボンに分かれているもの)・陽射しよけの帽子・タオル類・軍手・笛
- ・ザック（10L～20L）山歩きに慣れていない方は荷物を出来るだけ軽量化しましょう。
- ・非常食（おやつ）チョコや飴など糖質を中心に多めに持ちましょう。
- ・水筒またはペットボトル　・懐中電灯またはヘッドランプ

屋久島の森は湿度が高く汗をかきやすいので、**肌着は速乾性**の機能があるものがおすすめ。屋久島は雨が多いので、アウター・登山靴は**※ゴアテックス素材**のものを、もしくは防水で浸湿素材のものが望ましいでしょう。

注意事項・お願い

屋久島の山は道に迷いやすく、一度登山道から離れると遭難してしまう恐れがあります。また登山道を外れることは、貴重な植物を踏みつけてしまうなど、自然に悪影響を及ぼすこともあります。自分を守るため、また自然を守るためにも登山道は外れないようにしましょう。遭難時における搜索費用は本人負担となってしまいます。

なお、登山道は原則上の登山者が優先です。狭いところでは譲り合って通しましょう。万一道に迷ってしまった場合には、体力の消耗を避けるためむやみに動き回らないようにしましょう。救助用に警笛や携帯電話を持参するとよいでしょう。携帯電話は宮之浦岳や永田岳など主要な山頂や、種子島が見える場所、縄文杉への登山道（大株歩道）の一部で利用できる場合があります。なお、道に迷った場合でも沢伝いに川を下らないで下さい。屋久島の川は滝が多くて大変危険です。絶対に沢には下りないようにしましょう。

※携帯電話利用可能地域※

荒川登山口、淀川登山口やほとんどの山中で、携帯電話は通じません。縄文杉デッキ、宮之浦岳山頂、永田岳山頂、黒味岳山頂、太忠岳山頂、投石平など一部地域で一部の携帯電話は通じます。

- ・ゴミは投げ捨てず、山に持ち込んだものは必ず持ち帰りましょう。
- ・山の水を汚さないよう、特に水場周辺での配慮をお願いします。
- ・サルやシカに餌を与えないでください。
- ・国立公園内は動植物、土石の採取は禁止されています。
- ・トイレは荒川登山口と大株歩道入口、および縄文杉より10分先の高塚小屋にしかありません。また、トイレでは水溶性ティッシュまたはトイレトペーパーをご使用下さい。
- ・自然保護のため登山道から外れないようにしましょう。また、縄文杉の根元は踏みつけられ弱っているので、展望デッキから出ないようにしましょう。

帽子

日差し除けや頭部保護の役目もあるので帽子はかぶりたい。夏は涼しいメッシュのあるもの、春や秋はウールやフリース素材のものがおすすめ。

下着

白谷雲水峡やヤクスギランドでは気にする必要はないが、宮之浦岳登山では下着にもなるべく気を配りたい。シャツと同様に速乾性素材のものがベスト。

長ズボン

速乾性のストレッチ素材で作られた登山用のものがよい。少し余裕があって動きやすいサイズの方がよい。

ソックス

薄いものはマメや靴ずれができやすいので、登山用の厚手のものがおすすめ。

防寒着

南の島とはいえ標高の高い場所では真夏でも天候や時間帯によっては寒いこともある。縄文杉登山や宮之浦岳登山では防寒着を必ず持参したい。セパレートタイプのレインウェアは防寒着としても利用できる。

長袖シャツ

シャツに限らず、あらゆる衣類は汗や雨で濡れても冷たなく、乾きやすい速乾性素材で作られた登山用のものがベスト。

ザック

日帰りなら15~20リットル程度の大きさのもので充分。取り出すことが多い地図などはウエストポーチにまとめると便利。

靴

宮之浦岳登山ではしっかりした登山靴を用意。それ以外のコースではハイキングシューズでもよい。レインウェア同様、こちらも防水透湿性素材のものがおすすめ。

